

構成員名	令和2年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	取組の成果	今後の方向性	
信州諏訪農業協同組合	<p><b>【湖沼の対策】</b></p> <p>①</p> <p>(1) 諏訪湖岸に打ち上げられたゴミの除去</p> <p>(2) 下諏訪「環境の日一斉清掃」参加</p> <p>(3) 諏訪市「秋の全市一斉清掃」参加</p> <p>② 諏訪湖を綺麗にしちゃいましょう大☆作☆戦に協賛</p> <p>③ ○諏訪湖周のゴミ拾いを行いながら、ウォーキング「諏訪湖1周トコてく hike」を実施</p> <p><b>【流出水対策】</b></p> <p>① 土壌診断事業による適正施肥の推進</p> <p>② わたしの肥料による減肥の取組拡大</p> <p>③ ヒシ堆肥(すわかヒシパワー) 販売</p> <p>④ 肥料・農薬等かけ流し防止</p> <p>⑤ 環境にやさしい農業への取組</p> <p>⑥ GAPへの取り組み</p>	<p>① 全役職員</p> <p>② 職員</p> <p>③ 職員・組合員</p>	<p>① 役職員全員*が環境整備に参加 (*諏訪湖周に勤務または居住)</p> <p>②～③ 要請に対応</p> <p>② 個人単位施肥設計 オリジナル肥料取扱増</p> <p>④ 水稻指導会による止め水管理の徹底</p> <p>⑤ JA助成(水稻 レス50+カバークロープ) ・フェロモントラップの情報発信で適期防除を推進</p> <p>⑥ 指導会開催による生産者への理解促進</p>	<p>今年度はコロナウイルスの影響で参加できない活動がありましたが、活動ができる環境になり次第、積極的に参加していきたい。また、新たな取り組みで、三蜜を避けながらできる活動として、諏訪湖周のゴミ拾いを行いながらウォーキング「諏訪湖1周トコてく hike」を実施、継続をしていく。</p>	
諏訪湖漁業協同組合	<p>① 漁場環境保全対策 漁場環境の回復に向け、ヒシ除去、清掃活動などの取組を行う。</p> <p>② 食害軽減対策 ブラックバス・ブルーギル等の外来魚及びカワアイサ・カワウ等の魚食性鳥類対策として外来魚駆除や魚食性鳥類の追払いを実施する。 ドローンの活用等による新たな追払い方法の試行等を行って、鳥類による食害への新たな対応策について検討するとともに、魚食性鳥類の生態調査を実施し、効果的な対応策についても検討をすすめる。</p> <p>③ IoT を用いた諏訪湖水質観測プロジェクト(Suwa Smart Society 5.0)</p>	<p>①組合員</p> <p>②組合員</p> <p>③(株)旭、諏訪市産業連携推進室 信大他</p>	<p>①漁場の整備 ・ヒシ除去 ・清掃活動 アダプトプログラムによる担当区間の清掃、各船着場の清掃・草刈・ヒシ除去等 ・浮遊ゴミ・沈木除去 《R2 実績》一斉清掃や湖内ヒシ除去等が感染防止のために中止されたが、組合員による船着場を中心とした月1回以上の整備活動を実施。 清掃延べ167名、草刈延べ111名、ヒシ除去延べ111名、浮遊ゴミ等除去延べ72名参加。</p> <p>②(1)外来魚駆除 ・刺網や電気ショック船を用いた駆除作業。 (2)魚食性鳥類追払い (3)魚食性鳥類対策手法の検討 《R2 実績》 (1)外来魚駆除実績3.1t。毎年4t前後で推移、駆除により爆発的増加は抑えられている。 (2)12/1 から100日間の計画で実施中。結氷し難くなっていることから、わかさぎ親魚の保護のために追払いの意義は大きい。 (3)効果的な食害防除法を取り入れる必要は大。</p> <p>③ 水質観測プロジェクト ・測定機器及び体制の確立 ・信大とのデータ連携による検証 《R2 実績》 観測は順調で、リアルタイム監視にメドがついた。</p>	<p>①漁場の整備 継続実施。漁場整備・清掃作業に終わりは無い。 ヒシ除去について、現状の実施時期や実施区域がヒシ繁茂抑制に効果的なのか検証が必要。</p> <p>②食害軽減対策 現状実施している外来魚対策・魚食性鳥類対策は対症療法であり、根源的には湖内魚介類の増殖機能の再生拡充を図ることが重要。</p> <p>③水質観測プロジェクト 規模拡大や機能拡充による水質監視機能の拡充を図っていく必要。</p>	<p>ビジョンに規定された見直し年を迎えるにあたり、どこが実現したか、まだ実現されていないものはどこかについて共有することが重要です。手を付けやすいことばかりが先行する事態であってはならない。 諏訪湖創生ビジョンを「絵に描いた餅」にしないためにも、ビジョンを「策定した意義を再認識」しながら「実現性を高めるために何が必要か」の濃密な議論を重ねる必要が大いだと思います。</p> <p><b>【調査研究の推進(様式2)について】</b> 意見</p> <p>「調査研究に関すること」がなぜ県機関及び大学だけなのでしょう？ 構成団体(民間)にも能力はあります。少なくとも上記機関とのタイアップでの取組の実例(水質観測プロジェクト)もあります。一考願いたい。</p>

構成員名	令和2年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	取組の成果	今後の方向性	
諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の団体等とも連携して、諏訪湖及び湖周小河川でのカヤック・カヌー体験講習の実施(6月、8月9月、10月)</li> <li>○湖畔及び市内河川清掃(ゴミ拾い)</li> <li>○諏訪市内を流れる河川を水辺から見直し。 【水郷の街】として、その復活の可能性を探る。</li> <li>○3年目の「諏訪湖の日」のイベントも何か企画したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漕ぎあるきプロジェクトメンバー</li> <li>NPO 法人絆 JAPAN 諏訪湖カヤック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街・学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を今後も探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我々の構想(親水性のある湖岸・河川に階段堤・遊歩道など)を提案できる、行政・河川管理者との話し合いの場を引き続き、お願いしたいと思っております。</li> <li>○カヌー体験講習をとおして、子供たちに水辺環境に親しんでもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○湖・湖周でのカヤック・カヌーを多くの人に体験していただきたいと思えます。</li> </ul>
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 湖岸清掃:4月～3月(12回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。</li> <li>また、町による町内一斉清掃活動へも協力。(5月、10月)</li> <li>【4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】</li> </ul> </li> <li>② 水辺のごみ調査:4月～11月(6回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。</li> <li>【4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】</li> </ul> </li> <li>② アレチウリの除去作業:4月～9月(6回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。</li> <li>【4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】</li> </ul> </li> <li>④ 講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会の40周年記念事業として諏訪湖浄化や河川のごみ問題を考える講演会を開催予定。</li> </ul> </li> <li>⑤ 小学生に対する環境学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生に対する環境学習を実施し、身近な環境について学んでもらう。</li> </ul> </li> <li>⑥ 諏訪湖クリーン祭の開催:8月22日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体によるブース展示、湖上観察会や親子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・②・③・④ 下諏訪町民、湖浄連会員等</li> <li>⑤ 下諏訪町内小学生</li> <li>⑥ 下諏訪町民、湖浄連会員、各種団体等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につなげる。</li> <li>② 清掃参加者でグループを作り、湖岸清掃で拾ったごみの種類と量を記録する。継続して実施することで、ごみの多い場所や時期、種類など諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料とする。</li> <li>③ 湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につなげる。</li> <li>④ 諏訪湖に関する講演会を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会とする。</li> <li>⑤ ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めてもらう。</li> <li>⑥ ブース展示や様々な催しを通して、参加者に楽しみながら諏訪湖とふれあいを持ち、諏訪湖に親しんでもらう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会(湖浄連)は設立40周年を迎えます。40年の活動の支援・協力をいただきました大勢の皆さんに感謝申し上げます。</li> <li>40年前と諏訪湖・ごみの様子は変化していますが、私たちの活動の目的は変わりません。</li> <li>これからの活動が、美しい諏訪湖を次の世代へ受け継がれていく礎になるように活動を進めていきます。</li> </ul>
諏訪湖クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ヒシ除去作業への協力(長野県の設定時期)</li> <li>② 全国一斉水質調査に参加(世界環境デー6月3日、諏訪湖・天竜川水系30地点を担当。「信州水環境マップネットワーク」による長野県内全域の水質状況マップを作成。</li> <li>③ 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局に参加、事務局会議に出席(2か月に1回)</li> <li>④ 諏訪湖浄化関連事業:ナノバブルを利用した諏訪湖の浄化実験の実施(平成29～30年度)結果を参考にして、沿岸域での水質・底質浄化計画を策定し、関係自治体、関連民間企業の協力を得て実施に向けての作業を行う。</li> <li>⑤ 理事会(毎月1回)の開催と年1回の総会開催</li> <li>⑥ 「散歩しながら 諏訪湖に学ぶ」の配布先拡大、地元</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 若干名</li> <li>② 8名+長野県内30団体</li> <li>③ 事務局会議4名参加、諏訪湖通信編集2名</li> <li>④ 会員10名、関連自治体、民間企業</li> <li>⑤ 理事会は毎回10名前後が出席</li> <li>⑥ クラブ会員5名、地元マスメディア5名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ヒシの繁殖現状を把握、課題を理解</li> <li>② 全国運営委員会に長野県代表として参加、長野県内の水質ネットを運営、約30団体により、約380地点での測定を行い、長野県水環境マップを作製する。結果は各地の環境フェアにて公開、参加者の拡大を図る。</li> <li>③ 毎回の事務局会議で推進会議の運営について意見交換し、毎月発行の「諏訪湖通信」編集に協力、諏訪湖に関わる情報を紹介する</li> <li>④ 昨年度までの、湖水の上下循環システムの手法とナノバブル利用の有効性、水中カメラによる現場状況確認の有効性等の成果を基礎にして、現実の諏訪湖浄化への適用課題を整理し、諏訪湖沿岸域浄化への現実的適用案を策定、提案する。</li> <li>⑤ 理事会は拡大理事会として会員の参加は自由とし、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年末よりすでに実施中の企画⑥を推進し、内容を充実、発展させていきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の取組の中心は諏訪湖のさらなる浄化への協力として公民協力による浄化活動の推進手法の提案である。諏訪湖創生ビジョンが掲げている「泳ぎたくなる諏訪湖」実現に向けての具体的な提案と協働ができることを期待している。</li> <li>諏訪湖浄化が単なる湖の浄化活動ではなく、諏訪地域のまちづくりの一環として行われることを常に念頭に置いて進めていきたい。</li> <li>他団体との連携を充実させ、「泳ぎたくなる諏訪湖」実現に向けての実践に取り組みたい。</li> </ul>

構成員名	令和2年度活動実績				構成員へメッセージ																					
	活動の内容及び実施時期		参集者・連携団体	取組の成果		今後の方向性																				
	マスメディアとの諏訪湖浄化工法活動の企画、実施			会員以外のお席もあり、地域の課題等について意見交換を行い、他団体、地域自治体との協働活動への参加を進めている ⑥「散歩しながら 諏訪湖に学ぶ」をすでに増刷し、配布先の拡大にそなえている。この冊子をもとにして諏訪湖について学ぶ実践として長野日報社、市民新聞で特集を組み、LCVでは諏訪湖に学ぶの番組を企画、放映(月1回、1月～6月)を開始している。																						
諏訪湖白鳥の会	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動日</th> <th>活動内容(横河川河口)</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5.17</td> <td>アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>2.6.21</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>2.8.30</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>2.10.18</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>2.10.21</td> <td>草刈り</td> <td>3人(他に県・市数人)</td> </tr> <tr> <td>2.11.中旬～</td> <td>白鳥の観察、記録～3.2.下旬まで</td> <td>毎朝1～2人</td> </tr> </tbody> </table>	活動日	活動内容(横河川河口)	人数	2.5.17	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	5人	2.6.21	草刈り、ゴミ拾い	5人	2.8.30	草刈り、ゴミ拾い	5人	2.10.18	草刈り、ゴミ拾い	5人	2.10.21	草刈り	3人(他に県・市数人)	2.11.中旬～	白鳥の観察、記録～3.2.下旬まで	毎朝1～2人	左記のとおり	白鳥飛来地の環境整備により、湖岸来訪者に良好な景観を提供し、諏訪湖への理解を深めてもらう。飛来した白鳥の観察・記録を行い、衰弱した白鳥の保護等も行った。	引き続き同様の取り組みを行っていく。	白鳥飛来地の環境整備を通じて、諏訪湖の環境を考える情報発信を続けていきたい。
活動日	活動内容(横河川河口)	人数																								
2.5.17	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	5人																								
2.6.21	草刈り、ゴミ拾い	5人																								
2.8.30	草刈り、ゴミ拾い	5人																								
2.10.18	草刈り、ゴミ拾い	5人																								
2.10.21	草刈り	3人(他に県・市数人)																								
2.11.中旬～	白鳥の観察、記録～3.2.下旬まで	毎朝1～2人																								
NPO 法人諏訪市セーリング協会	3月29日 協会所有艇棧橋下ろし 4月12日 定期総会 (コロナ禍のためWEB上で実施) 6月～10月 マンスリーレガッタ開催 6月13日～14日 ソリング級東日本選手権大会 6月19日～21日 北信越インターハイ予選(中止) 7月2日～3日 諏訪湖水草取り作業 7月22日 水難救助訓練(中止) 7月23日 諏訪湖ヨットジャンボリー(中止) ○8月14日～10月3日 ヒシ取り作業全5回 (地域発元気づくり支援金活用事業) 8月14日～15日 湖上花火大会湖上警備(中止) 9月5日 新作花火競技湖上警備(中止) 10月10日 諏訪市スポーツ祭開会式及びセーリング競技大会 10月18日 諏訪湖浮遊物回収作業 (諏訪市新規採用職員事業協力) 11月1日 クラブ対抗ヨットレース及び協会所有艇棧橋陸揚げ作業 12月12日 理事会及び国体準備委員会設置	令和2年度長野県地域発元気づくり支援金事業 参加人数延べ200人  諏訪湖創生ビジョン構成メンバー団体・個人による協力	新型コロナウイルス感染症により、計画していた事業が大幅に中止となった。そこで、令和2年度地域発元気づくり支援金事業二次募集を申請し、新たな事業として「ヒシ除去による環境整備とヒシの実を活用した地元特産品開発」が採択されたことにより多くの皆様方にご協力いただき事業が完了した。これによりヒシ取り作業ができたことにより一定の刈取作業が進み課題となる湖上の環境整備が進んだ。また、ヒシの処分については現在、焼却及び堆肥化として扱われているが、新たな発想で刈り取ったヒシの実を有効活用するための事業として酒造りにも取り組んだことは大きく期待される事業となった。今後、成果発表及び試飲会を得て、今後商品化に結び付くかは今後の課題となる。諏訪湖創生ビジョン構成メンバー等のご協力により諏訪湖への関心度は高まったと考えられる。	今後は、引き続き継続的なヒシや水草の除去作業を進め、諏訪湖の環境改善に寄与したいと考えております。 また、当会が活動するセーリングスポーツを親しむ人、あるいはこれから同スポーツに参加しようとする人達等に対して、参加する機会を与えるとともに持続的な湖上スポーツの普及・振興・安全知識に関する啓発活動を行うことを進めます。	多くの方々のご協力によりお酒の試作品完成までにこぎつけることができました。生産に必要なヒシの実を確保するには、ある程度フレキシブルに刈り取れる体制が求められます。建設事務所に対しては刈取船を導入していただき運航委託していただける仕組みの構築によって早期の刈取が可能となる準備を進めていただきたいと思います。また、ヒシの実の有効活用に関しては諏訪のものづくりの観点から、実を剥きとる機械開発にご協力いただける企業が名乗り出てくれれば商品化に向けて、実現に近づくことと思います。今後も皆様方のご支援ご協力のほど宜しくお願い致します。																					
美サイクル茅野	上川アダプトプログラムに参加し、上川流域の河川清掃及び草刈り等を実施。 第1回 令和2年4月(中止) 第2回 令和2年7月 第3回 令和2年10月	上川アダプトプログラムに登録された市内企業、団体等	市内クリーンウォークと同時に行い、市内各所で清掃活動を行うことで、市民の美化意識の高揚に繋がっている。		諏訪湖及びその周辺のごみが少しでも減少し、きれいな諏訪湖にするための活動を継続していくことが必要であると考えます。																					

構成員名	令和2年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	取組の成果	今後の方向性	
諏訪地区労働者福祉協議会	今年度も、例年と同様、諏訪湖創生ビジョン推進会議をはじめ、ヒシ取り作業、水草学習会など、なるべく多くの機会をとらえて参加していく予定。	加盟団体	定期総会資料にて「諏訪湖創生ビジョン」に係る取組等を紹介し、当団体の取組方針を確認した。	広く活動内容を知ってもらうための情報発信を行っていく。	少しでも協力できる部分があれば、お手伝いしていきたいと考えます。
(一社)諏訪観光協会	<p>諏訪湖遊覧船初日の出号の運航 令和3年1月1日実施に関しては、現在関係者で協議中。</p> <p>第61回諏訪湖開き安全祈願式(令和2年5月27日)</p> <p>第66回わかさぎ釣り安全祈願式(令和2年10月8日)</p>	<p>主催者: 諏訪観光協会</p> <p>主催者: 諏訪観光協会 参集者: 諏訪市、諏訪地域振興局、諏訪警察署</p> <p>主催者: 諏訪観光協会 諏訪湖釣舟組合 参集者: 諏訪市、諏訪地域振興局、諏訪警察署、諏訪湖漁業協同組合</p>	<p>令和3年元日の初日の出号の運航は、新型コロナウイルス感染症の関係で中止。実施していれば、31回目の実施でした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策(3密対策)の為に参集者を減らして実施。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策(3密対策)の為に参集者を減らして実施。</p> <p>【事業全体のこれまでの成果】 諏訪湖の恵みに感謝をし、安心安全にお客様に楽しんでいただけるよう、3つの取り組みを長年に渡って取り組んで参りました。初日の出号の運航は、乗船の方々より「初日の出が見られて非常に良かった」の声を多数いただいております。</p>	<p>国内での新型コロナウイルス感染症対策が今後どのようなかを確認しながら今後の取り組みについて検討を行う。</p> <p>令和3年度の実施方については今後検討。</p> <p>令和3年度の実施方については今後検討。</p> <p>【事業全体の今後の方向性】 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、関係者で協議を図り、可能な限り実施できるよう努めて参りたいと考えております。</p>	
建設業協会諏訪支部	・河川愛護活動(諏訪湖アダプトプログラム)の実施 9月 令和2年6月、10月 その他、会員企業によるアダプトプログラムの実施	・河川愛護活動への参加者は延べ30名	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化		
諏訪湖ライオンズクラブ	① 10月1日諏訪湖創生ビジョン参加 ② 3月環境保全事業	諏訪湖ライオンズクラブ会員ならびに諏訪地域の青少年とともに参加予定	<p>①諏訪湖ライオンズクラブでは『私たちの心のふるさと諏訪湖』を次世代へと守るため、環境美化活動に力を入れています。</p> <p>平成30年10月1日が諏訪湖の日に制定されたことを受け、令和2年10月3日(土)に諏訪湖創生ビジョン推進の一環として、生態系への影響などが懸念される浮葉植物のヒシが諏訪湖面に大量繁茂しているため、その実を集め活用しようと挑む“NPO法人諏訪市セーリング協会”のヒシ取り活動に協力をさせていただきました。</p> <p>当日は、当クラブメンバーや諏訪和支部メンバー、地元有志の高校生と教員の皆様諏訪市セーリング協会メンバー約70名にて活動を行い、諏訪湖上で舟からヒシを集めたほか、ヨットハーバーでは以前採取したヒシの実の鬼皮をむく作業を行いました。</p> <p>ヒシの収集には舟6隻に分乗し、「すわっこランド」前付近でヒシを巻き取りました。ヒシは根本から抜くことが大切とのこと。</p> <p>参加した諏訪二葉高校の生徒さんは“途中で切れないうように抜くのが慣れるまでは難しかったけど、取るのは楽しかったです”と、話していました。</p>		

構成員名	令和2年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	取組の成果	今後の方向性	
			またヒシの実の皮むきは、栗剥き器やハサミを使いながらの作業となり、2時間ばかりでボールいっぱいの実を採取することができました。 今後も、良好な生態系を有する魅力的な諏訪湖を目指し、環境改善活動へ参加させていただきたいと思ひます ③ 令和3年3月21日(日)開催予定		
一般社団法人 大昔調査会  曾根遺跡研究会	(1)「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド」作成 「日本遺産：星降る中部高地の縄文世界」を構成する文化財(遺跡・史跡)及び周辺観光スポットを紹介するウォーキングガイド作成事業(3月末完成予定) ⇒ 市民の学習や観光客の見学等に活用  (2)「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座 (諏訪市博物館・ふるさと文化を語り継ぐ会と共催)	(1)ウォーキングガイドの原案作成のため、会員・市民が参加する。 (10名×6市町村分)  (2)「すわ大昔フォーラム」 諏訪の歴史・考古学講座(諏訪市博物館・ふるさと文化を語り継ぐ会と共催) (年6回×平均市民70名)	(1)「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド」作成・完成→6市町村などに配布(3月末予定) ⇒ 市民の学習や観光客の見学等に活用 (2)現在、諏訪市博物館と共催するイベントはすべて中止となっている。再開できる時期になれば、フォーラム等の開催方法を根本的に見直した上で積極的に実施していきたい。 地域発元気づくり支援金事業として実施中 (3月末完了予定) 活用も開始予定 (2)現在、諏訪市博物館と共催するイベントはすべて中止となっている。再開できる時期になれば、フォーラム等の開催方法を根本的に見直した上で積極的に実施していきたい。  「すわ大昔フォーラム」は、2020年10月に再開 ただし、広い会場に変更し、感染症対策実施  [諏訪大昔フォーラム・ザ・ムービー]を5回開催しました。 毎回5～7分程度の旧番組10～12本を連続上映。(参加無料) ■日時会場・内容【会場：諏訪市文化センター】 【第13回】10月11日(日)13:30～ 第2集会室(原始～古代) 【第14回】10月18日(日)18:30～ 第1集会室(古代～中世) 【第15回】10月24日(土)18:30～ 第1集会室(戦国～織豊期) 【第16回】11月1日(日)13:30～ 第2集会室(近世～近代) 【第17回】11月8日(日)13:30～ 第2集会室(近代～現代)	ガイド第1集3月刊行予定  2021年度に、第2集を作成予定   方法内容を再検討のうえ再開中	・諏訪湖の保全や市民による学習に際して、湖底「曾根遺跡」や、諏訪湖周辺の遺跡・史跡の存在を意識し、明確化したいと思っています。 ・歴史、文化系のイベントでお手伝いできることがあればご連絡ください。
(株)みのり建設 環境事業部	①ヒシと共に周辺地域の刈草や牛ふんを用いて堆肥を製造。未利用有機物を利用して、資源の循環を行う。 ④高校、小学校にて校内での堆肥の作り方、職場体験や講習会、ヒシの利用についての自由研究の見学会などに取り組み ・通年：食品製造会社からの動植物性残さ、学校給食などの生ごみ、地域の草木類や牛ふんを原料にした堆肥づくり。	地域の子供達、農業者、環境活動参加者	地域のヒシや刈草、ススキ、牛フンなどの未利用有機物の資源化と農地還元。	ヒシ堆肥、食品リサイクル堆肥の利用による資源循環の輪を大きくしたい。普及活動。	

構成員名	令和2年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	取組の成果	今後の方向性	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期:ヒシの堆肥化、冬期:ヒシ堆肥の熟成</li> <li>・秋期:霧ヶ峰のススキの堆肥化</li> <li>・春期:堆肥の保育園、小学校での利用</li> </ul>				
諏訪信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川愛護活動(諏訪湖アダプトプログラム)の実施 令和2年5月9日(中止)、6月20日(中止)、10月3日</li> <li>・諏訪湖一斉清掃への参加 5月24日(中止)、10月18日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金庫及び関連会社の職員</li> <li>・本年度新入職員 11名及び総務部職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化(下諏訪町砥川河口～十四瀬川河口)</li> <li>・諏訪湖一斉清掃への参加による諏訪湖浄化に対する意識向上</li> </ul>		
あってもいいな 夢工場 湖の驛プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工渚 水辺づくり(岡谷市湊) コロナの状況により、秋ごろに実施予定</li> <li>小石等の移動作業(以降毎週日曜日に作業を行う予定)</li> <li>イベント(マス・うなぎの放流、つかみ取り)を行う予定</li> <li>○元気づくり支援金事業 諏訪湖ストーリー作成(地域学生、住民(湊))とのワークショップ開催 (10月予定。コロナの状況による。)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの夢を叶えよう!とスタートし4年、ボランティア活動で大人自身が楽しみ喜びに発展し、盛り上がっている。また、各方面から賛同や励ましの声が寄せられるようになった。特に人工渚の活用について関心が強まって参りました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪湖で水遊びしたい。泳ぎたい…との子供の声が沢山きかれて参りました。今取り組んで いる人工渚から他にも広がってくれればと願っています。</li> <li>県にはもう一度見直しをし、子どもの夢を叶えられる渚と一緒に取組んでほしい。</li> <li>・釜口水門の舟通し活用については、今後もご協力をよろしくお願い致します。</li> <li>・江戸時代から明治初期に諏訪湖・天竜川に関連した歴史上の自然、文化、人物が多く存在しておりました。天竜川の源流には弁天島にまつわる弁財天【湖の神と川の神(竜神)】があり、葛飾北斎の富嶽三十六景からも美しい諏訪湖、弁天島撤去に人生を捧げた伊藤五六郎や天竜川を利用し、水車で電力をまかない発展した養蚕業。広大な諏訪湖の中でも天竜川の果たしてきた役割を私達はまだまだ活かし、守り切れていない現実があります。</li> <li>・神話にまつわる弁財天の存在どころか今や…。この祠の復活を視野に地域の方々に参画頂き、『湖之(うみの)語(かたり)』 諏訪湖ストーリー製作(昔話風)してみたい。</li> <li>・徐々に夢もふくらみ、「諏訪湖創生ビジョン」の一員として将来多くの人々が集う場所、まさに湖の驛プロジェクトとして発展し、日本中、世界中に発信していきたい。</li> </ul>

構成員名	令和2年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	取組の成果	今後の方向性	
一般社団法人 諏訪湖ミズベリ ング振興協会	水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくり事業 ○〈令和2年度の取組〉※新型コロナウイルスの状況によって開催 ・新型コロナウイルスに対する野外イベントの在り方について ・ミズベリグ諏訪湖ん談会の開催（講演会） 愛知県岡崎市「おとがワ！ンダーランド」取組実践者 岩ヶ谷氏を迎えて ㈱水辺総研 代表 「ミズベリグ」ディレクター岩本氏を迎えて ・諏訪市かわまちづくりへの協力 ・社会実験 (全国一斉の水辺で乾杯を実施 2020年 7月7日 7時7分) ・下諏訪町 アカスナテラスへの協力・参加	・ミズベリグに興味のある方・一般参加者・事業者他行政関係 ・サポート ミズベリグプロジェクト事務局	① 河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定の許可取得を目標に掲げ、賑わいのある魅力あるまちづくりのためのミズベリグ会議の開催。水辺イベントの開催。 ② 地域経済活性化のための観光振興として水辺の新しい活用の可能性を考える ・水辺を楽しむ人。水辺でまちを変えたい人。ビジネスを作る人、やりたい人を増やす。 ・全国のミズベリグネットワークとの情報交換	2021年全国一斉の水辺で乾杯を実施継続 ○GOontheSWAKOの事業で元気づくり支援金事業にエントリー ○諏訪湖イベントひろば活用に向けたサウンディング型市場調査に参加（令和3年1月28日） ○コロナ禍で野外の事業が注目されているのでアクティビティを盛り込んだまちの元気を考えたい。 コロナで中止となったミズベリグ諏訪湖ん談会も開催したい	・新型コロナウイルスによる諏訪湖花火大会等の野外イベントの密をどうするのか今から検討が必要…新しい様式（分散型の花火大会）実施を提案中（諏訪市・旅館組合） ・前にもお話ししましたが、諏訪湖深くする運動を県に切実にお願いし提唱しなくては、今の活動は終わってしまう。将来の諏訪湖は存在しないことを気づいてほしい。
長野県ボート 協会	4/12 諏訪湖ロングレース (新型コロナウイルスの影響により中止) 5/9,10 信毎諏訪湖レガッタ (新型コロナウイルスの影響により中止) 8月 漕艇場周辺の水草除去 8月、10月 親子のボート教室(下諏訪町漕艇協会主催事業への協力) (新型コロナウイルスの影響により中止) 9/13 下諏訪レガッタ 11/7,11,21 小学生中学生レガッタ・ボート体験会	・漕艇場周辺の水草除去：協会役員、地元高校ボート部員 約100名 ・小学生中学生レガッタ・ボート体験会：協会役員	・各種ボート大会、イベントの開催により、諏訪湖とスポーツに親しむ機会を設けた。 ・体験会の開催により、茅野や塩尻等の遠方の方々にボートや諏訪湖を知っていただける機会になった。	・今後も体験会や大会を通じてボート競技の魅力を知っていただき、競技人口の増加を目指す。	・大会のネット配信など無観客でも対応できる機器の購入や整備が必要。
環境市民会議 おかや	①ヒシ除去体験事業 ②ヒシ除去作業への協力(諏訪湖創生ビジョン) ③ ○おかや環境パネル展	①市民 ②役員 ③役員	① 7/11 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ③○レイクウォーク岡谷において「岡谷環境パネル展」を実施した(10/12～10/18) レジ袋有料化や海洋ごみ問題等に関する啓発パネルなどを展示した	①今後も諏訪湖の環境改善の為、継続して実施していく。 ③多くの方が来場する商業施設での啓発活動のとなるため、今後も同様の事業を検討したい。	当事業は、ヒシの除去による水質の改善だけではなく、体験を通じて諏訪湖の現状を身近に感じることができます。ぜひ、実際に諏訪湖に触れ、現状を感じてみてください。